



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	18,146.74	250.86	1.40	1.21	4.14	17,425.03
NASDAQ	4,956.76	79.95	1.64	2.36	-1.01	5,007.41
日経225	15,106.98	-169.26	-1.11	-3.67	-20.63	19,033.71
上海総合	2,988.09	-28.75	-0.95	1.90	-15.57	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,192.28	-17.67	-0.55	1.21	-14.44	3,731.01
ハンセン	20,564.17	-142.75	-0.69	-1.11	-6.16	21,914.40
H株	8,534.79	-66.20	-0.77	-2.04	-11.66	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.1%安と3週ぶり反落、上海総合指数は1.9%高

香港市場ではハンセン指数が1週間で1.1%安と3週ぶりに反落。週明け4日は主要国の中央銀行による金融緩和への期待でハンセン指数はほぼ1カ月ぶりの高値を付けたが、その後、英不動産ファンドの解約停止が相次いだほか、イタリア大手銀行の不良債権問題も浮上。世界経済の先行き不透明感からリスク回避の動きが強まった。上海総合指数は1週間で1.9%高と続伸。金融緩和や国有企業改革進展への期待で週前半は堅調に推移。ただ、3000ポイントを上回る場面では上値の重さが意識され、週後半は失速した。

今週の展望:香港市場はもみ合いの展開か、15日発表の中国の経済指標に注目

香港市場はもみ合いの展開か。前週末に発表された米雇用統計を受けて週初はリスク回避姿勢が後退しそうだが、中国で13日に貿易統計、15日にGDPをはじめとする主要経済指標の発表を控えることから、徐々に様子見姿勢が強まりそうだ。仮に経済指標が予想より悪かったとしても中国政府による追加金融緩和への期待が高まる可能性があり、結果によって大きく下げる展開にはなりにくいと思われる。一方、本土市場ももみ合いの展開か。人民元安を受けた資本流出への警戒感が相場の重しとなる可能性がある。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 新鴻基地産 (00016)	97.70	5.00
2 長江実業地産 (01113)	49.25	1.76
3 Link REIT (00823)	53.70	1.70
4 中国海外発展 (00688)	24.90	1.63
5 恒安国際集団 (01044)	65.75	1.62
6 信和置業 (00083)	12.82	1.26
7 香港鉄路 (00066)	39.50	0.77
8 テンセント (00700)	177.00	0.51
9 招商局国際 (00144)	20.65	0.24
10 レボグループ (00992)	4.68	0.21

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国旺旺 (00151)	5.10	-7.27
2 華潤電力控股 (00836)	10.78	-6.75
3 百麗国際 (01880)	4.33	-4.63
4 長江インフラ (01038)	63.95	-4.12
5 昆侖能源 (00135)	6.16	-3.60
6 シバック (00386)	5.40	-3.57
7 中国工商銀行 (01398)	4.14	-3.50
8 サンス・チャイナ (01928)	25.05	-3.47
9 康師傅控股 (00322)	7.06	-3.42
10 長江和記実業 (00001)	81.90	-3.13

▼今週の主なイベント

- 7月13日(水) 【中国】貿易統計(6月)
- 7月15日(金) 【中国】GDP(4-6月)、固定資産投資(1-6月)、鉱工業生産、小売売上高(6月)

▼今週の期待材料

- ◆6月の米雇用統計で非農業部門の就業者数が28万7000人増加、市場予想を大幅に上回る
- ◆中国の6月のCPI上昇率は1.9%、前月の伸び率を下回り追加金融緩和の余地が拡大
- ◆中国政府が石炭・鉄鋼の過剰生産能力解消に本腰、国家発展改革委員会が減産目標の達成を各方面に指示

▼今週の懸念材料

- ◆南シナ海の領有権を巡る仲裁裁判で12日に判決、中国に不利な判決になる公算大
- ◆英不動産ファンドで解約停止が相次ぐ、英EU離脱ショックの余波が引き続き相場の重しになる可能性も
- ◆15日にGDPをはじめとする中国の主要経済指標を発表、発表を前に様子見姿勢が強まる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 華能新能源 (00958) : 6月の発電量は前年同月比20%増の144万MWhと好調を維持
- ☆ チェンミン・ペーパー (01812) : 6月中間決算は生産能力改善で大幅増益の見通し
- ☆ 中国建築国際 (03311) : 1-6月の新規受注は17%増加、通期目標達成率は55.1%に
- ☆ 遠洋集団 (03377) : 6月の不動産販売額は67.5億元、前年同月比66%の大幅増
- ◇ 紫金鉱業集団 (02899) : A株第三者割当増資計画を発表、最大48億元を調達
- ★ 華潤セメント (01313) : 6月中間決算はセメント販売価格下落で大幅減益の見通し
- ★ 広発証券 (01776) : 6月中間決算は相場低迷の影響で最大54%の大幅減益見通し
- ★ 合景泰富地産 (01813) : 6月の不動産販売額は前年同月比2%減、前月比では8%減
- ★ 中信証券 (06030) : 6月の営業収益は前年同月比42%減、純利益は49%の大幅減
- ★ 海通証券 (06837) : 6月の営業収益は前年同月比54%減、純利益は56%の大幅減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。